

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回登米市立地適正化計画推進協議会
開 催 日 時	令和2年10月28日(水) 午後3時開会 午後4時30分閉会
開 催 場 所	登米市迫公民館 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	(大)宮城大学 教授 徳永幸之
出席者(委員)の氏名	(大)宮城大学 教授 徳永幸之【会長】 (公社)とめ青年会議所 理事長 千葉隼人【副会長】 (特非)とめタウンネット とめ女性支援センター センター長 足立千佳子 登米中央商工会 会長 阿部泰彦 (福)登米市社会福祉協議会 総務課長 渥美圭志 宮城県土木部都市計画課 課長 大宮敦 市長が必要と認める者 亀卦川祐里 市長が必要と認める者 村田真夕子 以上8名
欠席者(委員)の氏名	みやぎ登米農業協同組合 代表理事専務 佐々木修 (株)ミヤコーバス 石巻・登米地区支配人 執行役員 山崎強 以上2名
事務局職員職氏名	建設部 部長 千葉清 次長 菅原和夫 建設部住宅都市整備課 課長 千葉伸一 都市政策専門監 三浦訓徳 課長補佐 小橋一仁 都市整備係長 沼倉貴宏 技術主査 藤原健司 主事 佐藤亜耶 総務部 次長兼政策推進監 小野寺憲司
議 題	(1) 誘導区域の検討について (2) アンケート結果について
会 議 結 果	会議経過のとおり

会議経過	別添のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 誘導区域の検討について【資料1】 ・ アンケート結果について【資料2】 ・ 登米市立地適正化計画アンケート調査 集計結果<概要版>
発言者	発言
事務局	<p>定刻となりましたので、只今より「令和2年度第2回登米市立地適正化計画推進協議会」を開会いたします。</p> <p>本日の出席委員数については、委員総数10名のうち、過半数を超えておりますので、「登米市立地適正化計画推進協議会設置規則」第6条第2項の規定により、会議が成立していることを報告いたします。</p>
事務局	開会にあたりまして、熊谷市長より挨拶を申し上げます。
市長	【 市長から挨拶 】
事務局	続いて、徳永会長から一言、ご挨拶をお願いいたします。
会長	【 会長から挨拶 】
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、熊谷市長につきましては、別件の公務があるため、退席をさせていただきますので、ご了承願います。</p>
事務局	<p>本日の会議の公開・非公開についての報告ですが、登米市審議会等の会議の公開に関する指針第3条の規定により、本日の審議案件は、非公開議案に該当しませんので、傍聴者5人を限度といたしまして、公開で行うこととなります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策のため、本会議については、概ね1時間を目安として進めさせていただきますので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>「推進協議会規則」第6条第1項に基づき、会長が議長となる旨、定められておりますので、徳永会長が議長となり議事を進めていただきます。</p> <p>徳永会長、よろしくをお願いいたします。</p>

議長（会長）	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>「（１）誘導区域の検討について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【 事務局説明 ※資料１ 】</p>
議長（会長）	<p>説明が終わりました。</p> <p>委員の皆様から事務局に確認しておきたいことがあれば、お受けしますので、挙手の上、ご発言願います。</p>
委 員	<p>居住誘導区域等の検討方法は理にかなっていると思うので、これに基づいて居住誘導区域等の設定を行ってほしい。防災指針等についてもご検討を加えていただけるということだと思います。</p> <p>２ページの地域拠点への居住誘導区域の設定について、国、県と協議中となっているが、市が主体となって取り組んでほしい。居住誘導区域を設定するのであれば用途地域の設定も合わせて検討していただきたい。</p>
委 員	<p>２ページの都市計画総括図の中で商業地域はイオンを中心に中規模店がどんどん出店している。的場地区の商店街は全滅状態で、高校通りの殆どの店は閉まっている状態。大通り商店街は震災後に閉店・廃業が多かったので、実際に開店しているのは５～６店舗しかない。イオンを中心に中規模店が集まっており、用途地域の見直しが必要ではないか。１４ページの東日本台風では大東地区近辺の一带が全て床上浸水状態であった。中江地区や市役所近辺も水害浸水地区となっているが、この青い線で囲われている箇所は床上浸水のあった地域なのか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の中で定めていく誘導施設の再整備など、必要に応じて用途地域の検討をしていく必要があると考えている。青い線のエリアについては、水害統計調査で床下浸水と床上浸水の被害が出たところを町域ごとに囲っている。庁舎周辺は一部道路冠水もあった。大東地区の雨水排水整備事業など防災対策を図っていく。</p>
委 員	<p>居住地を誘導する点については、各９町、２１コミュニティ、どの辺を拠点として見ていくのか。丁寧に各町域の方に理解をしてもらえるように説明・話し合うべきではないか。立地適正化計画ではできないことで</p>

議長（会長）	<p>も、他の手段で考えられるものはないか。</p> <p>住民の方々、これから移住を考えている人たちにも分かりやすく説明していく必要があると考える。誘導区域でない所に住んではダメということではないが、言葉からはそう捉えにくいところがあるので、説明の仕方だと思う。地域拠点には一定の機能がなければならないと思う。</p>
事務局	<p>登米市都市計画マスタープランの将来都市構造図においては、中心拠点と地域拠点を公共交通で結んで活力のあるまちを維持する計画としている。現在の都市再生特別措置法の中では基本的には用途地域内への誘導ということで検討させていただくことになる。それとは別の形で市が目指す都市構造として地域拠点を維持するためにどのような都市機能が必要か検討していく。</p>
議長（会長）	<p>災害の危険性のあるエリアにおける土地利用の実態に応じた居住誘導区域の設定というのが分かりにくい。もう一度説明してほしい。</p> <p>公共交通について、バス停があれば1点になっている。路線が重複して走っている区間もあるので配点に工夫が必要だと思う。表現の問題だが青が濃い点数が低い部分は見せなくてもいいのではないか。</p> <p>用途地域外にある施設の評価をどのように考えるか。将来的にその部分に集中させるのか。</p>
事務局	<p>市街地全体が洪水浸水想定区域ではあるが市街地を別の場所に移転することはできない。災害リスクを検討して対策を取ったうえで居住を誘導するようにしていきたい。</p> <p>市内バス路線は全11路線ある。公共交通の評価については路線数や乗降者数を含めて再評価する。図面を含む資料について、見やすく分かりやすい形に整理する。</p> <p>これから高齢社会・人口減少社会になるということは現在の市街地部分がしぼんでいくような形になると予測されるので、できるだけ市街地をコンパクトに集約し都市機能を維持していく方向で考えている。新たな土地区画整理など広げるといった考えはできるだけせずにコンパクトにしていくという方向で検討する。</p>
委員	<p>人口減少も急速に進むだろうし、登米市の高齢化率も高い位置にある。空き家、空き店舗が多い。計画だけでなくまちづくりと合わせて考えて</p>

	<p>いかないとならない。</p>
議長（会長）	<p>誘導区域に設定しても地域の道路が狭いなどインフラが弱いと郊外の広い住宅に勝てない。古い街にどうやって誘導するのか考えないといけない。例えば、空き地の活用やカーシェア等、新たなライフスタイルの提案という形にしていかないと若い人たちに魅力的だということを見せられないと思う。</p>
委員	<p>新しいアパートも増えているが若い人たちは新しいところに行くので古いアパートは空いている。</p>
議長（会長）	<p>計画を作れば終わりではないという課題だと思う。</p>
議長（会長）	<p>質問はありませんか。質問が無いようですので、次の議事に進みます。続きまして、「(2) アンケート結果について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【 事務局説明 ※資料2 】</p>
議長（会長）	<p>説明が終わりました。 委員の皆様から事務局に確認しておきたいことがあれば、お受けします。</p>
委員	<p>石巻とか仙台など市外に買い物に行っている人が多い。三陸道が整備されて便利になったが登米市は通過点にしかならない。 アンケートの自由回答は分野ごとに区分して羅列してほしい。</p>
事務局	<p>アンケートは単純集計したところなので詳しい分析を進めていく（年代ごとの特徴など）。「ショッピングセンター」という言葉は、捉え方は人それぞれかと思う。 アンケートの自由回答はご指摘のとおりで、これから見やすい形で分野ごとに整理していく。</p>
副会長	<p>アンケート調査の結果はどこまで示す予定か。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の庁内策定委員会で内容は周知しており、各部署に展</p>

	<p>開している。</p> <p>今回 2,000 人に配布し、約 5 割と回答率が高くなった。アンケートの結果は自由回答も含めて各部署に示している。部署ごとに関連部分の意見を取入れながら、今後の政策に活かしていきたいと考えている。</p>
副会長	<p>アンケート結果は貴重な意見だと思う。行政だけでなくWEB等で積極的に市民へ発信してもらいたい。</p>
事務局	<p>ホームページで公表する予定である。</p>
委員	<p>アンケートの結果を居住地区ごとに見たい。居住歴等でクロスをかけて分析してほしい。町域ごとに求めているものが見えてくるのではないかな。</p>
議長（会長）	<p>それでは、若い委員の皆さんから率直な意見を一言ずつお願いします。</p>
委員	<p>若い人たちもまちづくりに興味や関心を持って地域コミュニティで活動している人がいる。市のホームページはあまり見ないので、それ以外の方法でも発信してアピールしてほしい。</p>
委員	<p>中心ばかりで地域拠点はどうなるのかと思った。若い人たちが住みたいと思える、登米市のいいところを考えて愛着を持ってもらえるようになるといいのではないかな。</p>
委員	<p>地域の方への丁寧な説明は必要だと思う。報道なども活用して発信してほしい。アンケート回収率の高さから考えると市民は注目しているのではないかな。参加した方に結果を返してあげることも必要だと感じた。</p>
議長（会長）	<p>ホームページだけではなく、広報誌などいろいろな媒体を使って発信していただければと思う。</p>
委員	<p>情報の取り方はみんな違うのでネットもいいが工夫しながら広く発信してほしい。登米市はあまり情報を出さないと言われている。マスコミも活用し、良いところはどんどん報道してもらおう。9町域の活性化・再生を考えないと登米市全体の発展はない。</p>

議長（会長）	守るだけではなく攻めていくということも必要ということかと思う。
委員	9月の地域懇談会では参加者が少なかったと伺った。1月の地域説明会では開催方法を考えてほしい。9町で九つの地域と見るのか、丁寧に21 コミュニティで見るのか。例えば委員を使ってもらおうとか。横断的にほかの計画と合同で説明会を開くとか、臨機応変に考えてほしい。
事務局	<p>その他で地域懇談会の結果を説明する予定でした。9月1～11日に市内9町域9か所で地域懇談会を行ったが、参加者は全体で13名だった。迫地区5名、登米地区1名、津山地区2名、米山地区1名、東和地区3名、石越地区1名。どなたもお集まり頂けなかったのは中田地区、南方地区、豊里地区の3町域。地域で開催した方がより多くの方に集まってもらえると思ったが、周知が足りなかった。参加いただいた方からの主な意見は【中心拠点への都市機能の集約は理解しているが、町域ごとの地域の拠点については維持していかなければならないので検討してほしい】、【中心拠点と各地域の拠点を結ぶ公共交通について、市民バス等の公共交通の充実について検討してほしい】とのことで、地域の拠点をどう生かしながら中心拠点を活性化していく手法を取るのかというご意見だった。</p> <p>今後のスケジュールについて、第3回の推進協議会は12月頃の開催を予定している。それを受けて1月に地域説明会を考えている。開催方法については検討を行っている。ただ、法改正に伴う防災指針について資料整理や検討に時間を要するため、開催時期に流動的な部分があることをご理解いただきたい。</p>
議長（会長）	<p>質問がありませんか。今日は貴重なご意見をいただいた。事務局には時間がない中ではあるが検討をお願いしたい。</p> <p>本日の議事は以上となります。ここからは事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で本日予定いたしました議事はすべてご審議いただきました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、千葉副会長より、一言、ご挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	【 閉会の挨拶：千葉副会長 】

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、「令和2年度第2回登米市立地適正化計画推進協議会」を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>【閉会】</p>
-----	---